

今年は気温が高く推移していることから、基部未熟粒や胴割粒の発生が懸念されます。刈り遅れに注意しましょう。



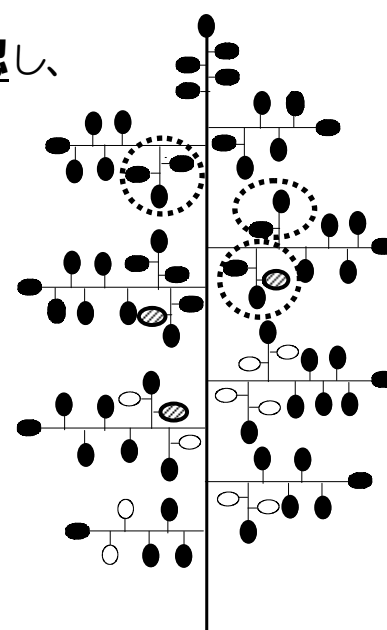
1 収穫期の予想

- ・収穫期は高温によりやや早まる見込みです。コンバインや乾燥機の清掃等の準備は遅れずに行ってください。
- ・ほ場の状態や今後の天候により収穫適期は変動します。穂の黄化割合を実際に確認し、適期に収穫をしましょう。
- ・収穫適期は、籾の85~95%が黄色になった頃（この頃の穂の様子は右図）です。
- ・出穂後の積算気温から見た収穫予想は下記のとおりです。

◎こしいぶき（田植日5月13日）

◎コシヒカリ（田植日5月10~15日）

〔8月14日現在の収穫期予想（気温は13日までは実測値、14日以降は平年値で積算）
コシヒカリは95℃、こしいぶきは925℃となる日で収穫期を予想。〕



[収穫適期の穂の状態]

- 黄化籾
- 黄化直後の籾

2 収穫までの水管理

- ・飽水管理（田面を乾かさない水管理）を出穂30日後まで継続して、地力窒素の発現と根の活力維持を図り、下葉の枯れあがり・倒伏・品質低下等を防止しましょう。
- ・高温下での長時間の湛水は根腐れにつながりやすいため、「こまめなかん水」を心掛けましょう。
- ・コシヒカリでは、取水期間終了直前に最終かん水を行きましょう。

（注）高温やフェーンが予想されるときは、急激な蒸散による高温障害（白穂、変色籾や乳心白粒等）が発生するので、湛水に努めてください。

3 収穫作業の注意点

- ・胴割粒の発生を防ぐため、刈り遅れに注意しましょう。
- ・異物や他品種の混入を防ぐため、下記の点に注意しましょう。
 雑草種子混入防止：収穫前にクサネムの抜き取りを行きましょう。
 土・石の混入防止：倒伏した場合は、一定方向刈りで株抜けを減らしましょう。
 他品種の混入防止：品種切り替え時は、コンバインや乾燥機などをよく清掃しましょう。
- ・刈り遅れが予想される場合は、カントリーエレベーターの利用も検討しましょう。

1000粒中3粒の
異物混入で2等に！

4 JA 柏崎 乾燥調製施設 荷受け日程

※搬入の際は、道路交通法の遵守と安全対策を行い、事故等に十分気をつけてください。

施設名	TEL	早期・一般 越路早生	新潟次郎	こしいぶき	コシヒカリ
柏崎 CE	21-1007	8月18日~31日	8月19日~	9月1日~	9月6日~
刈羽 CE	45-3990	8月18日~31日	8月19日~	9月1日~	9月6日~
高柳 RC	41-2266	受付なし	受付なし	9月6日~	9月6日~

5 乾燥作業の注意点

①正確な水分測定

- 乾燥機の自動水分計が17%程度になったら随時サンプルを取り、手持ちの水分計で測定しながら、**適正水分の14.5%~15.0%に仕上げ**ましょう。※飼料用米も同じ基準となっています。
- 水分計は使用前に点検し、**玄米の温度が常温になったら、青米や未熟米を除いた整粒で測定**しましょう。

②胴割米の発生防止

- 胴割粒の発生と食味の低下を防ぐため、**急激な乾燥は避けましょう。**
- 粳水分にあわせて送風温度・時間を変えましょう。

生粳は変質しやすいので、
収穫後はなるべく早く
乾燥機に張込み、通風を！

6 調製作業の注意点

①適正な粳すり作業

- 穀温が高いと粳殻のムケが悪くなるので、**粳すりは粳の温度が常温近くまで下がってから**行いましょう。
- ゴムロール間隔は狭すぎると肌ずれを助長するので、0.8~1.2 mmを基準にしましょう。また、ゴムロールの片減りやムラ減りにも注意しましょう。
- 流量が多いと粳すり・選別が悪くなります。**調製時の粳の流量を適正に調整**してください。
- 品種の切り替え時は、清掃とロール幅等の調整を再度行いましょう。

②正確な量目の測定

- はかりは清掃と点検を行い、置き場所の水平と安定を確認してから使用しましょう。
- 検査時の皆掛重量は**紙袋 30.5kg・フレコン 1030.5kg（いずれも風袋込み）**です。
- 袋詰め後は、品質低下と乾燥防止のため、直射日光を避けて保管しましょう。

近年、中山間地で目立っています。
作業ミスによる
格落ちを減らしましょう！

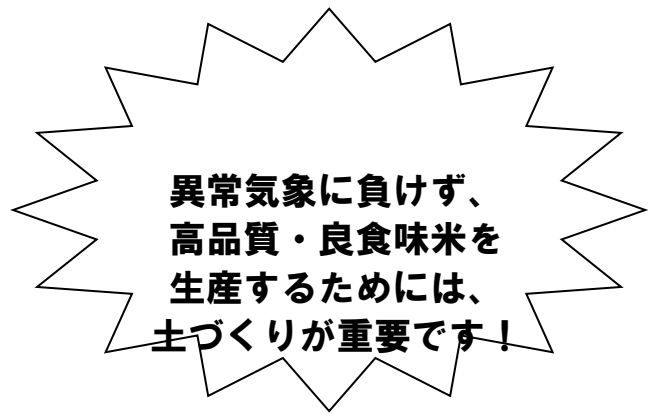
③粳混入の防止

- ライスグレーダーと粳すり機での粳の流し過ぎに注意しましょう。
- 適宜サンプルを取り、明るい場所でしっかり確認しましょう。

用途	資材名	散布量(10a)
土づくり	牛ふん堆肥	500kg
総合土づくり	JA 柏崎専用土づくり肥料	40~60kg

7 土づくり等

- 稲わら等の秋すき込みは、**地温の高い10月20日頃までに、5~10 cmの「浅うち」**で行い、わらの分解を促進させましょう。乾きにくいほ場では、ほ場の中央部だけでも秋すき込みを行いましょう。
- 土壌分析結果を参考にりん酸、けい酸が不足しているほ場では、土づくり資材を積極的に活用しましょう。(下表参照)
- 塊茎で増える雑草(オモダカ、クログワイ等)の発生が多いほ場では、稲刈り後の除草剤を検討しましょう。



異常気象に負けず、
高品質・良食味米を
生産するためには、
土づくりが重要です！

有機質	おぐに有機	60~80kg
けい酸	粒状ケイカル	60~120kg
りん酸	苦土重焼燐	20~40kg
けい酸+りん酸	粒状燐燐 20	40~60kg

【土づくり資材（例）】

農業機械の安全使用 ~コンバインへの巻き込まれ・転落転倒事故に注意！~

- あせりが事故につながります。時間に余裕を持った作業スケジュールを組みましょう。
- 修理や点検などは、必ず機械のエンジンを停止してから行いましょう。

【お問い合わせ先】

全地区共通

JA 柏崎営農指導課 21-2095

柏崎農業普及指導センター 21-6263

南部高田、中央柏崎地区

JA 南部高田支店 22-5165

東部田尻、北部西中通

JA 東部田尻支店 35-8188

高柳地区

JA 高柳支店 41-2244

西山、刈羽地区

JA 刈羽支店 45-2255

中山間地版 No.6

次回発行日：12月中旬頃
H27年総括

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、中越農業共済組合、柏崎農業協同組合、柏崎土地改良区
柏崎農業普及指導センター（柏崎地域振興局農業振興部）